

授 業 科 目 名	教育史概論(Introduction to History of Education)		
科 目 番 号	9200211	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	1年次
実 施 学 期	春C	曜 時 限	火曜・3、4時限
対 象 学 群 ・ 学 類	人文・応理・エシス・比文・日日・社工対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	田中 マリア		
オ フ ィ ス ア ワ ー	事前連絡の上、訪問のこと。		
授 業 の 到 達 目 標	(1)教育の歴史に関する基礎的知識が理解できる。 (2)重要な教育の理念と思想について説明できる。 (3)学校の成立と展開の仕方について説明できる。		
授 業 の 概 要	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。		
授 業 計 画	第1回 授業のオリエンテーションとともに、教育の歴史の全体を概観する。 第2回 学校と教育の歴史的現在を考える。 第3回 古代・中世における人間形成のあり方を考える。 第4回 近世における人間形成のあり方を考える。 第5回 近代化と学びの世界の変動を考える。 第6回 近代における学校の制度化を考える。 第7回 近代の教育と国民国家の形成を考える。 第8回 戦争・平和と教育との関係を考える。 第9回 現代における学校と教育の課題を考える。 第10回 教育史のまとめを行う。 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験、レポート、受講姿勢などを踏まえ総合的に評価する。		
テ キ ス ト	鈴木理恵・三時真貴子編「教育の歴史・理念・思想」教師教育講座第2巻、共同出版、2014年。		
参 考 文 献	日本教育史関係図書		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	教育史概論(Introduction to History of Education)		
科 目 番 号	9200221	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	月曜・4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	吉田 武男		
オ フ ィ ス ア ワ ー	月(18:00~19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	(1)教育の歴史に関する基礎的知識が理解できる。 (2)重要な教育の理念と思想について説明できる。 (3)学校の成立と展開の仕方について説明できる。		
授 業 の 概 要	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。		
授 業 計 画	第1回 授業のオリエンテーションとともに、教育の歴史の全体を概観する。 第2回 古代における人間形成の在り方を考える。 第3回 中世における人間形成のあり方を考える。 第4回 近世における人間形成のあり方を考える。 第5回 市民革命・産業革命と教育の変動を考える。 第6回 近代における学校の制度化を考える。 第7回 新教育運動を考える。 第8回 戦争・平和と教育との関係を考える。 第9回 現代における学校と教育の課題を考える。 第10回 教育史のまとめを行う。 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験、レポート、受講姿勢などを踏まえ総合的に評価する。		
テ キ ス ト	尾上雅信編著『西洋教育史』ミネルヴァ書房、2018年。		
参 考 文 献	西洋教育史関係図書		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	教育史概論(Introduction to History of Education)		
科 目 番 号	9200231	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	春 C	曜 時 限	月曜・5、6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報対象		
担当教員(連絡先)	吉田 武男		
オ フィ ス ア ワ ー	月(18:00~19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	(1)教育の歴史に関する基礎的知識が理解できる。 (2)重要な教育の理念と思想について説明できる。 (3)学校の成立と展開の仕方について説明できる。		
授 業 の 概 要	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。		
授 業 計 画	第1回 授業のオリエンテーションとともに、教育の歴史の全体を概観する。 第2回 古代における人間形成の在り方を考える。 第3回 中世における人間形成のあり方を考える。 第4回 近世における人間形成のあり方を考える。 第5回 市民革命・産業革命と教育の変動を考える。 第6回 近代における学校の制度化を考える。 第7回 新教育運動を考える。 第8回 戦争・平和と教育との関係を考える。 第9回 現代における学校と教育の課題を考える。 第10回 教育史のまとめを行う。 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験、レポート、受講姿勢などを踏まえ総合的に評価する。		
テ キ ス ト	尾上雅信編著『西洋教育史』ミネルヴァ書房、2018年。		
参 考 文 献	西洋教育史関係図書		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	教育史概論(Introduction to History of Education)		
科 目 番 号	9200241	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 B	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 1～5 クラス対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	大谷奨(本部棟低層棟 2 階アドミッションセンター メール: sotani@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	不定(事前に連絡をいただければ柔軟に対応します)		
授 業 の 到 達 目 標	(1)教育の歴史に関する基礎的知識が理解できる。 (2)重要な教育の理念と思想について説明できる。 (3)学校の成立と展開の仕方について説明できる。		
授 業 の 概 要	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。		
授 業 計 画	第 1 回 授業のオリエンテーションとともに、教育の歴史の全体を概観する。 第 2 回 学校と教育の歴史的現在を考える。 第 3 回 古代・中世における人間形成のあり方を考える。 第 4 回 近世における人間形成のあり方を考える。 第 5 回 近代化と学びの世界の変動を考える。 第 6 回 近代における学校の制度化を考える。 第 7 回 近代の教育と国民国家の形成を考える。 第 8 回 戦争・平和と教育との関係を考える。 第 9 回 現代における学校と教育の課題を考える。 第 10 回 教育史のまとめを行う。 定期試験		
成 績 評 価 方 法	最終日最終時限に試験を行う。		
テ キ ス ト	テキストは指定しない。資料等については manaba を使って適宜配布する。		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	教育史概論(Introduction to History of Education)		
科 目 番 号	9200251	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 B	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 6～10 クラス対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	大谷奨(本部棟低層棟 2 階アドミッションセンター メール: sotani@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	不定(事前に連絡をいただければ柔軟に対応します)		
授 業 の 到 達 目 標	(1)教育の歴史に関する基礎的知識が理解できる。 (2)重要な教育の理念と思想について説明できる。 (3)学校の成立と展開の仕方について説明できる。		
授 業 の 概 要	学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。		
授 業 計 画	第 1 回 授業のオリエンテーションとともに、教育の歴史の全体を概観する。 第 2 回 学校と教育の歴史的現在を考える。 第 3 回 古代・中世における人間形成のあり方を考える。 第 4 回 近世における人間形成のあり方を考える。 第 5 回 近代化と学びの世界の変動を考える。 第 6 回 近代における学校の制度化を考える。 第 7 回 近代の教育と国民国家の形成を考える。 第 8 回 戦争・平和と教育との関係を考える。 第 9 回 現代における学校と教育の課題を考える。 第 10 回 教育史のまとめを行う。 定期試験		
成 績 評 価 方 法	最終日最終時限に試験を行う。		
テ キ ス ト	テキストは指定しない。資料等については manaba を使って適宜配布する。		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の教育基礎学Ⅱに対応。		